

陸羽東線の復旧を応援 「いいものマルシェ」開催



物販ブースの様子（陸羽東線沿線いいものマルシェ）



駅スタンプ体験コーナー（陸羽東線 PR）

最上町と宮城県美里町は、災害時の相互応援協定を結ぶ自治体として、日頃から交流を深めています。今回は、陸羽東線の復旧応援と地域の魅力発信を目的に、株式会社藤崎百貨店（仙台市）の協力のもと、両町合同の物販イベント「陸羽東線沿線いいものマルシェ」を開催しました。

会場には両町の特産品が並び、本町からはしいたけやお米、焼き菓子、漬物などを出品。多くの来場者が足を止め、商品を手に取りながら地域の魅力を楽しんでいました。今回は、ふるさと納税返礼品提供事業者にも出店を呼びかけ、町の魅力を幅広くPRする機会となりました。陶器やはけこバッグなど、作り手の思いが伝わる商品も好評でした。

また、陸羽東線PRコーナーでは、最上町内各駅の「駅スタンプ体験」を実施。スタンプを押しながら沿線の魅力に触れる来場者の姿や、写真パネルを熱心に眺める様子も見られました。来場者向けの抽選会には2日間で約500人が参加し、最上町の特産品が景品として贈られました。

ご来場いただいた皆さま、出店者の皆さま、そして会場をご提供いただいた藤崎百貨店をはじめ関係者の皆さま、ありがとうございました。町では今後も陸羽東線を応援しながら、最上町の魅力発信に取り組んでいきます。

民具に学ぶ 暮らしの変遷（旧月楯小学校）



昔の農具の前に、米づくりの歴史や人々の暮らしの工夫について学ぶ児童たち

向町小3年生が社会科の授業で旧月楯小学校を訪れ、町が保管・展示している昔ながらの民具を見学し、「人々の暮らしの移り変わり」をテーマに学習を行いました。

民具の解説員には本城の北村昭夫氏が招かれ、町の基幹産業となる「米づくり」が昭和30年代頃までにどのように営まれてきたのかを、肥え引きから稲刈り、その後の藁再利用までを含む一連の関連民具を取り上げながら解説していただきました。

脱穀機や唐箕など、機械化した現代ではお目にかかることのできない道具や衣類、生活用品等を前に、児童たちは熱心に観察し、古さの中にも垣間見える先人の知恵や賢さを感じ取っていました。

最上町アンバサダー就任！ モンテディオ山形 岡本一真選手が町の魅力をPR

サッカーJ2・モンテディオ山形では、地域の魅力発信を目的に各市町村のアンバサダー選手を設けています。最上町のアンバサダーには岡本一真選手が就任しました。岡本選手は、赤倉温泉をPRする特産品「赤倉さいだー」を紹介。地域の関係者と協議・開発されたこの商品は、販売本数が3千本を超える人気商品へと成長しています。

また、中央公民館ではクラブを応援する「リボンマグネット募金」を実施しています。1,000円以上の募金にご協力いただいた方へ、リボンマグネットを進呈しています（募金箱の設置は令和8年6月上旬まで）。

J1昇格を目指すモンテディオ山形と、最上町の魅力発信を担う岡本選手への温かいご声援をお願いします。



JR東日本に対するご意見ご要望について

運休中のJR陸羽東線に関するご意見、ご要望は、JR東日本「ご意見承りセンター」へお申し込みください。（例：代行バスのダイヤに関することや、線路敷地内の草刈り、除草など）



- インターネットから申請
下記サイト下部の「ご意見承りフォーム」よりお申し込みください。
<https://www.jreast.co.jp/info/>
(右記QRコードをご活用ください)

詳細はHPへ



- お電話で申請
☎050-2016-1651
受付時間：平日9:00~17:00（土日祝・年末年始を除く）
※対応まで時間を要する場合があります。あらかじめご了承ください。

2026年版 窓リハ補助金のお知らせ

やっぱり窓が命

窓は省エネの話ではありません。命の話です。
窓リハで暮らし革命！
最大100万円の補助金で断熱性能アップ。

窓リハ 断熱性能アップ
補助金還元 **1,600円突破** (2023年~累計金額)

ウェルシハシモ
0120-38-4610
〒999-6101 山形県最上郡最上町向町 279-13 受付 8:00~18:00 / 定休日: 日曜日

新築・リフォームのご相談是非どうぞ！

- 窓の高断熱化で補助金最大100万円（インナーサツでもOK）
- 断熱リフォーム、水回り、増改築、外壁工事、屋根工事
- 最上町や国の補助金は無料で申請します

株式会社 鈴木工務店
最上町大字志茂 210-18 (0233) 44-2316 <https://suzuki-ie.com>